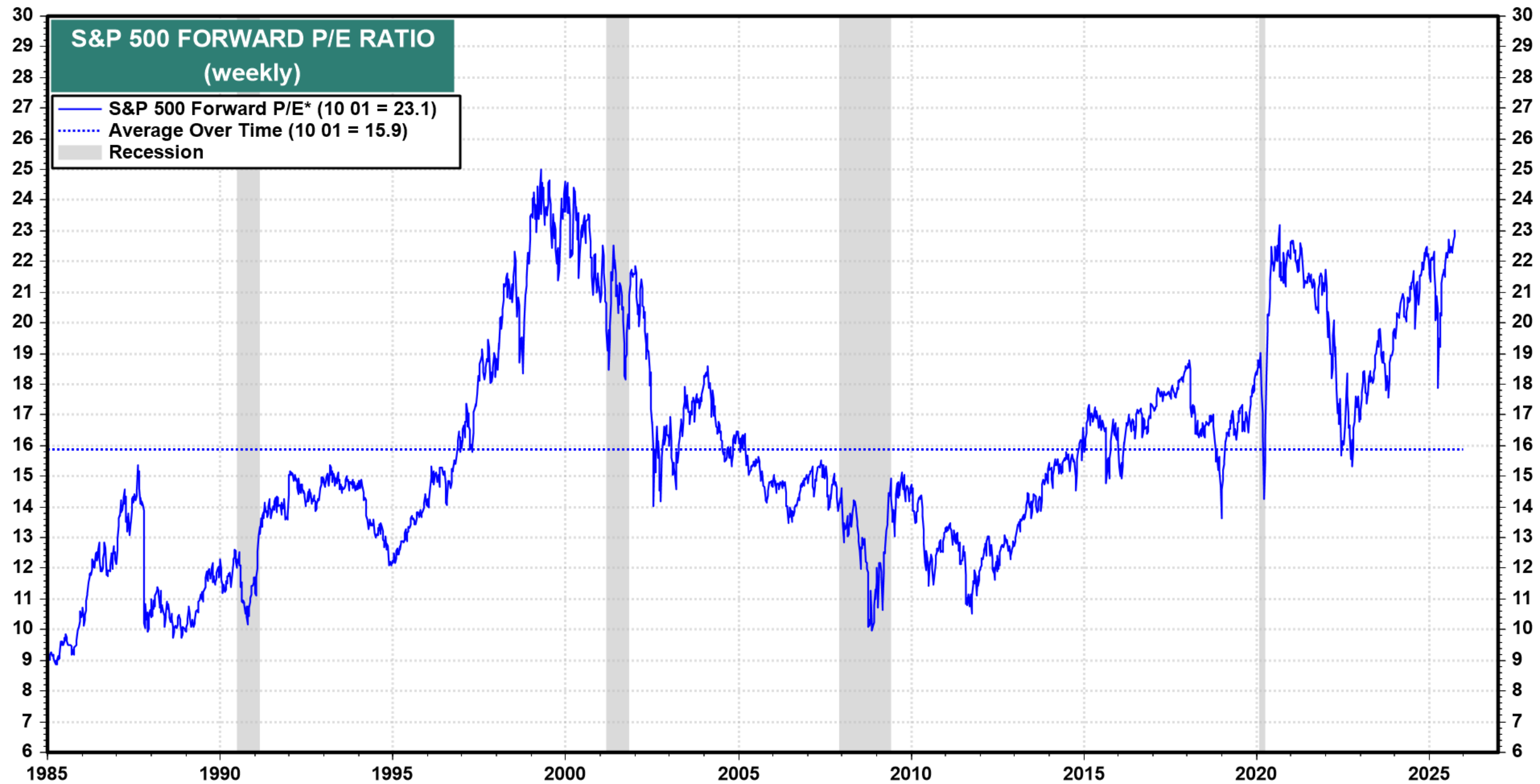


S&P500の歴史的な割高感は「新常態」、バブル懸念に反論－BofAが分析

Alexandra Semenova

2025年9月25日 12:47 JST

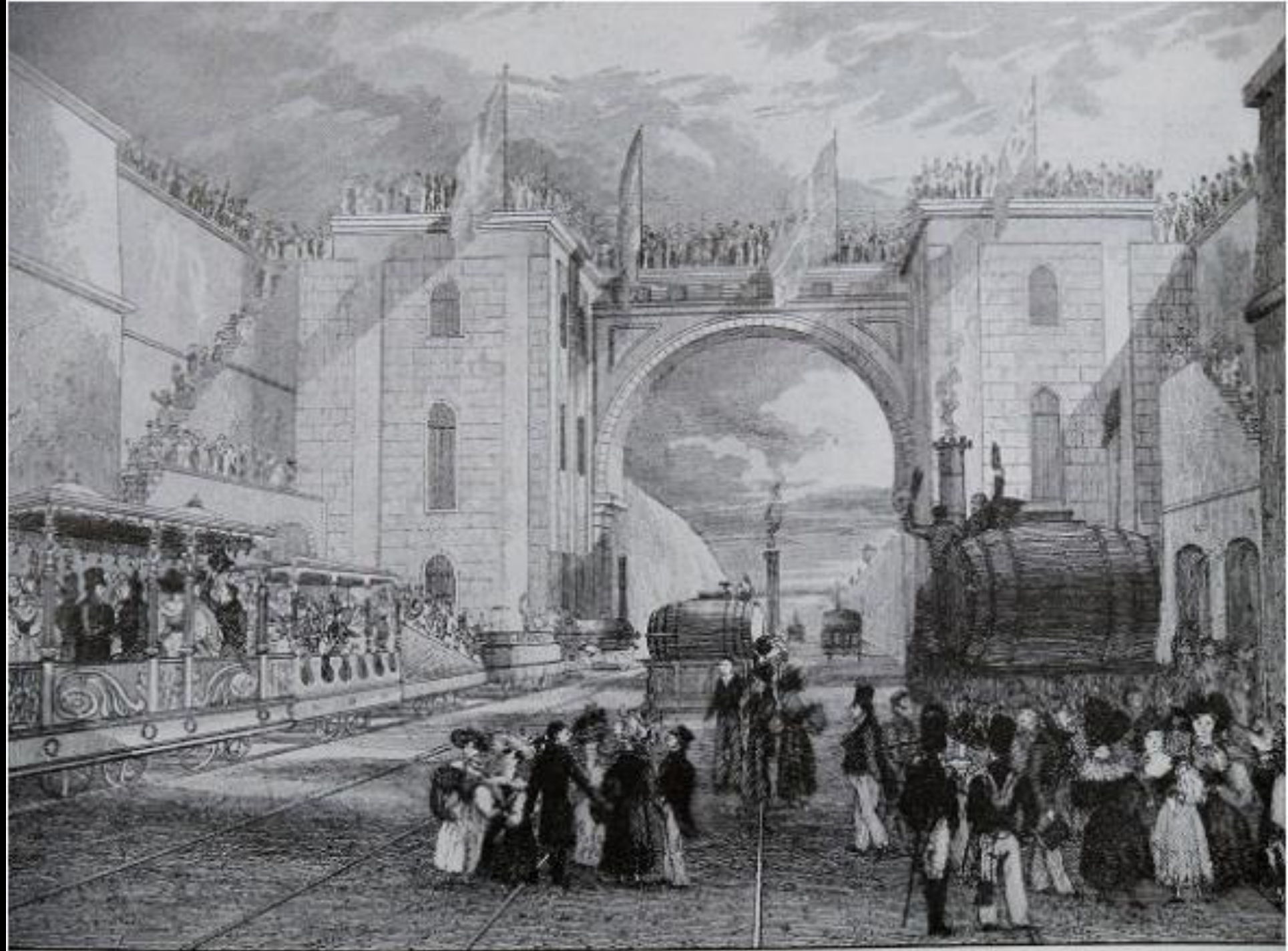
スブラマニアン氏は「指数は80年代、90年代、2000年代から大きく変化している。過ぎ去った時代の平均に回帰することを想定するより、現在のマルチプル（評価倍率）をニューノーマル（新常态）と考えるべきだ」と指摘した。



Source: LSEG Datastream and © Yardeni Research and Standard & Poor's.

* Price divided by 52-week forward consensus expected operating earnings per share.

スブラマニアン氏は「指数は80年代、90年代、2000年代から大きく変化している。過ぎ去った時代の平均に回帰することを想定するより、現在のマルチプル（評価倍率）をニューノーマル（新常态）と考えるべきだ」と指摘した。





ウィキペディア
フリー百科事典



寄付 アカウント作成 ログイン

≡ 鉄道狂時代

文A 11 個の言語版

ページ **ノート**

閲覧 編集 履歴を表示 ツール

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

鉄道狂時代（てつどうきょうじだい）とは、**1840年代**に**イギリス**で発生した**鉄道**への**投資熱**のことを指す用語である。**バブル経済**の共通のパターンをたどり、**鉄道会社**の**株価**が上昇するにつれて、**投機家**がさらに多くの金を注ぎ込み、不可避の崩壊を迎えた。272もの新鉄道会社を設立する法案が議会を通過した**1846年**に頂点に達した。



≡ Panic of 1847

[3 languages](#) ▼

Article [Talk](#)

[Read](#) [Edit](#) [View history](#) [Tools](#) ▼

From Wikipedia, the free encyclopedia

The **Panic of 1847** was a major British commercial and banking crisis, possibly triggered by the announcement in early March 1847 of government borrowing to pay for relief to combat the [Great Famine](#) in Ireland.^{[1][2]} It is also associated with the end of the [1840s railway industry boom](#) and the failure of many non-bank lenders.^{[3][4]} The crisis was composed of two phases, one in April 1847 and one in October 1847, which was more serious and known as 'The Week of Terror'.^{[5][6]}





ウィキペディア
フリー百科事典



寄付 アカウント作成 ログイン



狂騒の20年代

文A 28 個の言語版

ページ **ノート**

閲覧 編集 履歴を表示 ツール

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

狂騒の20年代（きょうそうのにじゅうねんだい、**英**: Roaring Twenties、ローリング・トゥウェンティーズ）または**狂乱の20年代**（きょうらんのにじゅうねんだい）とは、**アメリカ合衆国の1920年代**を表現する語である。





ウィキペディア
フリー百科事典



寄付 アカウント作成 ログイン

ウォール街大暴落

文A 61 個の言語版

ページ ノート

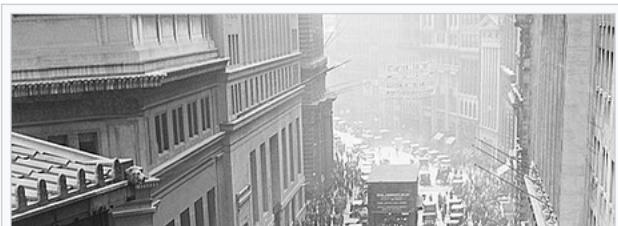
閲覧 編集 履歴を表示 ツール

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』



「**暗黒の木曜日**」はこの項目へ転送されています。2015年に中華人民共和国で起きた事件については「**709事件**」をご覧ください。

ウォール街大暴落（ウォールがいだいぼうらく、Wall Street Crash^{[1][2]}）は、1929年に発生した**株価大暴落**である。単に**株価大暴落**（Stock Market Crash）、**大暴落**（Great Crash）ともいう。**ペコラ委員会**によって原因が調査された。一般には**世界恐慌**のきっかけとされている^[3]。



「ニューエコノミー論」再考

1990 年代後半，米国経済の長期的な好況を反映していわゆる「ニューエコノミー論」が米国を中心に勃興した。たとえば 97 年 7 月の FRB グリーンスパン議長の米国議会証言で，米国経済の情報技術（IT）革新による成果としてニューエコノミーが語られ，その理論的源泉として，80 年代のローマー（スタンフォード大）やルーカス（シカゴ大）らの説に求める論調がマスコミを賑わせた。すなわち，生産性の上昇により，米国経済の高成長と低インフレが可能になったというものである。またウェーバー（UC バックレー大）は景気循環の波が減少あるいは消滅した根拠として経済のグローバル化と IT 産業の役割について 97 年発表した。

≡

テクノロジー史

文A

56 個の言語版

▼

ページ

ノート

閲覧

編集

履歴を表示

ツール

▼

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

テクノロジー史（テクノロジーし、英: history of technology）は、道具や技法の**発明**の歴史であり、世界の歴史と様々な形で繋がっている。人々は知識に基づいて新たなものを生み出す。逆に**テクノロジー**の進化が知識の源泉である**科学**の進歩を可能にするという側面もある。例えば、それまで到達できなかった場所に人類が足を踏み込めるようにしたり、宇宙の性質を人間が感じ取れる以上の精度で測定できるようにするなどである。生物としての人間の限界を乗り越える方法論の開発の歴史であるとも言える。

科学史	
背景	[表示]
時代	[表示]
文明・地域	[表示]
分野	[表示]
カテゴリ	

Volume 2, Chapter 7

A New Era, 1920-1929

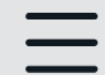
On January 1, 1929, the editors of the *Washington Post* prepared a special business supplement to welcome the New Year. "Good Times Are Predicted for 1929," read the banner headline. The *Post* hardly seemed to be going out on a limb with this forecast. After all, two other headlines trumpeted "Record Year Just Ended" and "Gains in Stock Exchange." Further fueling the business community's optimism was the feeling that the federal government took



S&P500の歴史的な割高感は「新常態」、バブル懸念に反論 – BofAが分析

Alexandra Semenova

2025年9月25日 12:47 JST



Investment strategy

Is it a golden era for gold?